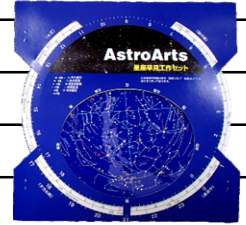
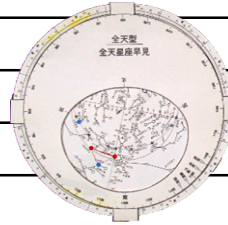


# 星座早見盤

2026年度版

ねらい 内 容	作成した星座早見盤を使用し、美しい夜空を見つめることにより、 星空の学習とともに自然を愛する心を育む。
対 象	小学生～
期 間	通年
人 数	200名
集合場所	自由
活動時間	1時間程度（使い方の指導込み）
活動場所	クラフト室、研修室
費 用	白黒版：150円/枚 カラー版：200円/枚
持ち物	はさみ、のり、ホチキス、テープ、筆記用具
貸出品	はさみ、のり、ホチキス、テープ
施設職員	説明： なし 対応： なし 団体の指導者主体で実施してください。 貸出品が必要な場合は、職員までお申し出ください。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に作業の進行について打合せをする。</li> <li>・「星座早見盤」を実際に使用し、完成の喜びが持てるようにする。</li> <li>・はさみ、ホチキス等を使用する際は周囲に気を付ける。</li> </ul>



## ■指導者の支援活動

- 1 製作方法の確認及び説明
- 2 安全確認
- 3 疑問点への対応及び助言
- 4 使用方法の説明及び指導

## ■ 別プログラムとの連携

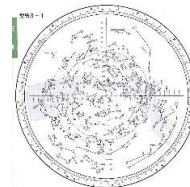
「星空観察」や「プラネタリウム」と組み合わせて行ってみてはどうでしょうか？星座早見盤の作成と星空観察、プラネタリウムを合わせたプログラムを計画することで、より天文学習が深まります。また星座早見盤は、夜の実天観測にも活用できます。  
なお、プラネタリウムは11月～3月の期間であれば夜間プログラムとしても実施できます（2,000円/1回）

## ■活動展開例

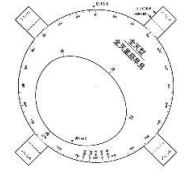
1 「星座早見盤」のねらいや製作方法を知る。（注意事項の説明）

2 「星座早見盤」を作る。（白黒版）

- ① 星座盤と回転盤をそれぞれ、まわりの円の縁にそって切り抜く。
- ② 回転盤は窓（内側の楕円の部分）をカッター・はさみで切り抜く。
- ③ 星座を色鉛筆で色づけし、春・夏・冬の3角形を線で結ぶ。
- ④ 回転盤の点線を折り曲げ、星座盤にかぶせる。
- ⑤ 裏のおさえ紙をテープで貼りつける。



星座盤



回転盤

3 「星座早見盤」の使い方の説明をする。

- 星座盤の月日に回転盤の時刻を合わせると、その日のその時刻に見える星座が窓の中に出る。
- 上方を向き、早見盤の北を北極星方向に合わせて星空を調べる。